

## 基幹保育所の選定上の視点や優位性について

### 1 パブリック・コメントで寄せられた意見の概要

- ① 基幹保育所をエリアの中心部に位置づけることによって、駅から遠くなるなど利便性が低くなることもあるのではないのでしょうか。就学前児童数の町別分布や、子育て世帯の異動等、さまざまな角度からの増減予測をふまえて、よりきめ細かい視点から、基幹保育所の場所や数を決めるべきだと思います。
- ② 利便性を考え、公共機関（駅）に近いこと、災害時の避難場所として大きな公園や施設が近隣にあることを考慮すべき。
- ③ 老朽度や立地、通所児童数、その他の要因などを総合的に検討して決定すべき。
- ④ 施設老朽度は単純に新・改築からの年数で老朽化状況を判断すべきでない、実態の老朽度について考え方を整理すべき。
- ⑤ 施設規模は「延床面積」ではなく、現状受け入れている子ども達の「定員」をベースに考えるべき。定員が大きい施設は、延床面積も必然的に大きく、民営化の影響も定員が大小に比例すると考える。
- ⑥ 現在アウトリーチ等の支援を担っている子ども家庭支援センター「たち」との距離間などを踏まえ、物理的に支援が手薄になると考えられる施設を基幹保育所として選定すること。
- ⑦ 児童の政策を研究する機関として基幹保育所を選ぶのであれば、2歳児までの保育園を選ぶ必要があるのか。5歳児までの保育園を選んだ方がよい。

### 2 市の考え方

お寄せ頂いた意見を踏まえ、次のとおり修正等を行っております。

#### ○ 施設所在

本方針で定める基幹保育所は、府中市検討協議会の報告を踏まえ、地域内への支援アプローチやアウトリーチの展開を検討しておりますが、他市と比較して市の面積が狭小である地理的特性を活かすとともに、既に全市的な子育て支援の中核として子ども家庭支援センター「たち」が、市民の利便性に配慮し、京王線府中駅前に設置されていることを踏まえ、公共機関（駅）との距離は考慮せず、基幹保育所と将来的に類似の取組を行う子ども家庭支援センターとの距離間を考慮し修正を行いました。

#### ○ 施設老朽度

お申し出の「実態の老朽状態」については、完全性をもって把握することは困難であるため、府中市公共施設マネジメント白書（平成23年3月策定）の建物の老朽化状況に対する評価を踏まえ判断することとします。

（参考）評価区分：築20年未満、築20年以上30年未満、築30年以上の3区分。

#### ○ 施設規模

お申し出のとおり修正を行いました。

#### ○ 災害時の避難場所が近隣にあること

お申し出の避難場所については、全ての保育施設に求められるものであるため、修正はございませんでした。